

## 〔経済学科 2016年度以降入学生 卒業所要単位表〕

科目区分	区 分	卒業に必要な単位			
基礎教育科目	入門ゼミ	必 修	4 単位	4 単位	
外国語科目	第一外国語	必 修	6 単位	120 単位以上	
	第二外国語	必 修	6 単位		
	選択科目	自由選択			
保健体育科目	スポーツ総合	必 修	2 単位	120 単位以上	
	スポーツ種目	自由選択			
総合教育科目		選択必修	26単位以上	120 単位以上	
専門教育科目	必修科目	4 単位		60単位以上	76単位以上
	選択必修科目 (1年次配当科目)	12単位以上	32単位以上		
	選択必修科目 (2年次配当科目)	12単位以上			
	選択必修科目 (3・4年次配当自分野)	8 単位以上			
	選択必修科目 (3・4年次配当他分野)				
	選択科目				
	自由科目				
<b>卒業所要単位合計</b>		<b>124単位以上</b>			

※外国語科目＋保健体育科目＋総合教育科目＋専門教育科目の単位数を合算しても116単位にしかならないことに注意。120単位を満たすためには、外国語科目、保健体育科目、総合教育科目、専門教育科目の区分で最低単位数以上の履修が必要になる。

## VI. 科目履修基準

### 1. 各年次の科目履修基準

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目			教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目	教職科目
1 年 次 生	11～14ページ 参照	スポーツ総合A/B	16ページ参照	入門ゼミA/B	経済学入門 A/B	26ページ 参照			
	8科目・8単位	2 単 位	10 単 位	4 単 位	4 単 位	12単位			10単位
40単位制限内で登録								※:加算10単位	
64単位以内で登録									

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				再履修科目	教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目		教職科目	※:資格科目
2 年 次 生	11～14ページ 参照								1年次配当 単位の未修得 単位分について 左記の単位に 加算して履修 できる。 加算8単位		
	4科目・4単位										
40単位制限内で登録								加算24単位			
64単位以内で登録											

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				再履修科目	教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目		教職科目	※:資格科目
3 年 次 生									1・2年次配当 単位の未修得 単位分について 左記の単位に 加算して履修 できる。 加算8単位		
40単位制限内で登録								加算24単位			
64単位以内で登録											

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				再履修科目	教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目		教職科目	※:資格科目
4 年 次 生	※:4単位以上・40単位以内で登録								加算8単位		
	※:64単位以内で登録										

- ※1: 資格科目は、各年次64単位以内で履修できる。
- ※2: 1年次には教職科目を最高履修単位の10単位まで加算して履修できる。
- ※3: 4年次では卒業所要単位に含まれる単位を4単位以上修得しなければならない(留級した場合は通算して4単位以上)。
- ※4: 4年次の教職科目については、各々履修単位の上限を設けていないため、4年次の最高履修単位の24単位を加算した範囲で履修することができる。

## 2. 年間最高履修単位

### (1) 年間最高履修単位

- ① 各年次配当（通常年間最高履修単位）は9頁のとおり、1～4年次生とも40単位である。
- ② 再履修（各年次配当未修得単位）および教職科目を履修する2・3年次生は、各年次配当単位の24単位を限度として加算した合計単位の枠内で履修できる。  
ただし、再履修については8単位、教職科目の履修単位は24単位を限度とする。

### (2) 再履修単位とその算出基準

再履修とは下級年次における配当単位（科目）のうち、①登録した科目を履修した結果、不合格（DおよびE評価）となった単位分 ②通常年間最高履修単位数まで登録せず、未履修（未登録）となった単位分について、その不足単位数を補填するために履修することを意味する。

再履修するにあたっては、3月上旬に情報ポータルサイトに発表される「成績通知書」で各自不足単位数（科目）を確認のうえ、下記の基準により再履修単位を確認すること。

年次	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目
2年次生	(1年次配当単位合計：40単位) - (修得済卒業所要単位) ≤ 8単位				
3年次生	(1・2年次配当単位合計：80単位) - (修得済卒業所要単位) ≤ 8単位				
4年次生	(1～3年次配当単位合計：120単位) - (修得済卒業所要単位) ≤ 8単位				

### (3) 留級者の履修単位

ガイダンス期間に配布する「Web履修登録要領」にて、再履修について各自で確認すること。1年次生のみ「留級生ガイダンス」を行うので、留級生は必ず出席のこと。

※単位不足で3年次に留級となった者は、所定の履修単位制限内で履修できる。ただし、留年した3年次で卒業に必要な単位を修得した場合でも、4年次には4単位以上修得しなければならない。

## 〔国際経済学科 2016年度以降入学生 卒業所要単位表〕

科目区分	区 分	卒業に必要な単位			
基礎教育科目	入 門 ゼ ミ	必 修	4 単位	4 単位	
外国語科目	第 一 外 国 語	必 修	12 単位		
	第 二 外 国 語	必 修	6 単位		
	選 択 必 修 科 目	選 択 必 修	2 単位		
保健体育科目	ス ポ ー ツ 総 合	必 修	2 単位	120 単位 以上	
	ス ポ ー ツ 種 目	自 由 選 択			
総合教育科目		選 択 必 修	24 単位以上		
専門教育科目	必 修 科 目	4 単位	62 単位以上		70 単位以上
	選 択 必 修 科 目	20 単位以上			
	選 択 科 目				
	自 由 科 目				
<b>卒 業 所 要 単 位 合 計</b>		<b>124 単位以上</b>			

※外国語科目＋保健体育科目＋総合教育科目＋専門教育科目の単位数を合算しても116単位にしかならないことに注意。120単位を満たすためには、外国語科目、保健体育科目、総合教育科目、専門教育科目の区分で最低単位数以上の履修が必要になる。

## VI. 科目履修基準

### 1. 各年次の科目履修基準

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目	教職科目	※:資格科目
1 年 次 生	59～63ページ 参照	スポーツ総合A/B	65ページ参照	入門ゼミA/B	英語で学 ぶ経済学 入門A/B	68ページ 参照				
	10科目・10単位	2 単 位	8 単 位	4 単 位	4 単 位	12単位			10単位	
40単位制限内で登録									※:加算10単位	
64単位以内で登録										

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				再履修科目	教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目		教職科目	※:資格科目
2 年 次 生	59～63ページ 参照								1年次配当 単位の未修得 単位分につい て左記の単位 に加算して履 修できる。		
	8科目・8単位								加算8単位		
40単位制限内で登録									加算24単位		
64単位以内で登録											

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				再履修科目	教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目		教職科目	※:資格科目
3 年 次 生	59～63ページ 参照								1・2年次配当 単位の未修得 単位分につい て左記の単位 に加算して履 修できる。		
	2 単 位								加算8単位		
40単位制限内で登録									加算24単位		
64単位以内で登録											

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				再履修科目	教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目		教職科目	※:資格科目
4 年 次 生	※:4 単位以上・40単位以内で登録								加算8単位		
※:64単位以内で登録											

- ※1 資格科目は、各年次64単位以内で履修できる。
- ※2 1年次には教職科目を最高履修単位に10単位まで加算して履修できる。
- ※3 4年次では卒業所要単位に含まれる単位を4単位以上修得しなければならない（留級した場合は通算して4単位以上）。
- ※4 4年次の教職科目については、各々履修単位に上限を設けていないため、4年次の最高履修単位に24単位を加算した範囲で履修することができる。

## 2. 年間最高履修単位

### (1) 年間最高履修単位

- ① 各年次配当（通常年間最高履修単位）は57頁のとおり、1～4年次生とも40単位である。
- ② 再履修（各年次配当未修得単位）および教職科目を履修する2・3年次生は、各年次配当単位に24単位を限度として加算した合計単位の枠内で履修できる。ただし、再履修については8単位、教職科目の履修単位は24単位を限度とする。

### (2) 再履修単位とその算出基準

再履修とは下級年次における配当単位（科目）のうち、①登録した科目を履修した結果、不合格（DおよびE評価）となった単位分 ②通常年間最高履修単位数まで登録せず、未履修（未登録）となった単位分について、その不足単位数を補填するために履修することを意味する。

再履修するにあたっては、3月上旬に情報ポータルサイトで発表される「成績通知書」で各自不足単位数（科目）を確認のうえ、下記の基準により再履修単位を確認すること。

年次	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目
2年次生	(1年次配当単位：40単位) - (修得済卒業所要単位) ≤ 8単位				
3年次生	(1・2年次配当単位：80単位) - (修得済卒業所要単位) ≤ 8単位				
4年次生	(1～3年次配当単位：120単位) - (修得済卒業所要単位) ≤ 8単位				

### (3) 留級者の履修単位

ガイダンス期間に配布する「Web履修登録要領」にて、再履修について各自で確認すること。1年次生のみ「留級生ガイダンス」を行うので、留級生は必ず出席のこと。

※単位不足で3年次に留級となった者は、所定の履修単位制限内で履修できる。ただし留年した3年次で卒業に必要な単位を修得した場合でも、4年次には4単位以上修得しなければならない。

**〔現代ビジネス学科 2016年度以降入学生 卒業所要単位表〕**

科目区分	区 分	卒業に必要な単位			
基礎教育科目	入 門 ゼ ミ	必 修	4 単位	4 単位	
外国語科目	第 一 外 国 語	必 修	6 単位		
	第 二 外 国 語	必 修	6 単位		
	選 択 科 目				
保健体育科目	ス ポ ー ツ 総 合	必 修	2 単位	120 単位以上	
	ス ポ ー ツ 種 目		自 由 選 択		
総合教育科目		選 択 必 修	22単位以上		
専門教育科目	必 修 科 目	4 単位	66単位以上		80単位以上
	選 択 必 修 科 目	24単位以上			
	選 択 科 目				
	自 由 科 目				
<b>卒 業 所 要 単 位 合 計</b>		<b>124単位以上</b>			

※外国語科目＋保健体育科目＋総合教育科目＋専門教育科目の単位数を合算しても116単位にしかならないことに注意。120単位を満たすためには、外国語科目、保健体育科目、総合教育科目、専門教育科目の区分で最低単位数以上の履修が必要になる。

16年度以降入学生  
現代ビジネス学科

## VI. 科目履修基準

### 1. 各年次の科目履修基準

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目	教職科目	※:資格科目
1 年 次 生	105～108 ページ参照	スポーツ総合A/B	110ページ参照	入門ゼミA/B	企業と経済・ 基礎A/B	113ページ 参照				
	4科目・8単位	2単位	10単位	4単位	4単位	12単位			10単位	
40単位制限内で登録										
64単位以内で登録										
※:加算10単位										

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				再履修科目	教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目		教職科目	※:資格科目
2 年 次 生	105～108 ページ参照								1年次配当 単位の未修得 単位分について 左記の単位に 加算して履修 できる。		
	4科目・4単位								加算8単位		
40単位制限内で登録											
64単位以内で登録											
加算24単位											

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				再履修科目	教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目		教職科目	※:資格科目
3 年 次 生									1・2年次配当 単位の未修得 単位分について 左記の単位に 加算して履修 できる。		
									加算8単位		
40単位制限内で登録											
64単位以内で登録											
加算24単位											

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				再履修科目	教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目		教職科目	※:資格科目
4 年 次 生	※:4単位以上・40単位以内で登録								加算8単位		
	※:64単位以内で登録										

※: 資格科目は、各年次64単位以内で履修できる。

※: 1年次には教職科目を最高履修単位に10単位まで加算して履修できる。

※: 4年次では卒業所要単位に含まれる単位を4単位以上修得しなければならない(留級した場合は通算して4単位以上)。

※: 4年次の教職科目については、各々履修単位に上限を設けていないため、4年次の最高履修単位に24単位を加算した範囲で履修することができる。



## 2. 年間最高履修単位

### (1) 年間最高履修単位

- ① 各年次配当（通常年間最高履修単位）は103頁のとおり、1～4年次生とも40単位である。
- ② 再履修（各年次配当未修得単位）および教職科目を履修する2・3年次生は、各年次配当単位の24単位を限度として加算した合計単位の枠内で履修できる。ただし、再履修については8単位、教職科目の履修単位は24単位を限度とする。

- 2～4年次生で、〈再履修単位の合計が24単位を超える者〉は、その超過単位分について、年間通常履修単位（40単位）の中から、それを振替えて履修することができる。

### (2) 再履修単位とその算出基準

再履修とは下級年次における配当単位（科目）のうち、①登録した科目を履修した結果、不合格（DおよびE評価）となった単位分 ②通常年間最高履修単位数まで登録せず、未履修（未登録）となった単位分について、その不足単位数を補填するために履修することを意味する。

再履修するにあたっては、3月上旬に情報ポータルサイトで発表される「成績通知書」で各自不足単位数（科目）を確認のうえ、下記の基準により再履修単位を確認すること。

年次	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目
2年次生	（1年次配当単位合計：40単位）－（修得済卒業所要単位）≤ 8単位				
3年次生	（1・2年次配当単位合計：80単位）－（修得済卒業所要単位）≤ 8単位				
4年次生	（1～3年次配当単位合計：120単位）－（修得済卒業所要単位）≤ 8単位				

### (3) 留級者の履修単位

各年次のガイダンス期間に配布する「Web履修登録要領」にて、再履修について各自で確認すること。1年次生のみ「留級生ガイダンス」を行うので、留級生は必ず出席のこと。

※単位不足で3年次に留級となった者は、所定の履修単位制限内で履修できる。ただし留年した3年次で卒業に必要な単位を修得した場合でも、4年次には4単位以上修得しなければならない。